

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和7年度第3回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和7年11月28日（金曜日） 14時40分～16時00分
場所	南小学校 2階 わくわくルーム
出席委員	宇津木会長、内野泰委員、大塚委員、佐藤嘉委員、佐鳥委員、三浦委員、金泉委員、藤尾委員、田中委員、久保田委員、廣田委員、内野昌委員、高橋委員、松本委員 田嶋委員（南中校長）、吉澤委員（南小校長）
欠席委員	佐藤孝委員、井上委員、栗原委員、黒川委員
事務局	南小学校 目黒教頭、小熊事務主任 南中学校 稲葉教頭、長村事務主任
議題	(1) 第2回学校運営協議会議事録について (2) 令和7年度学校評価について
配布資料	・ 令和7年度第3回鶴ヶ島市立南小中学校学校運営協議会式次第 ・ 南小学校 学校評価項目に対する取組等、学校だより及び活動の様子 ・ 南中学校 学校評価項目に対する取組等、学校だより及び活動の様子 ・ 令和7年度第2回学校運営協議会議事録 ・ 令和7年度第4回学校運営協議会の開催について（通知） ・ かわつるだんちフェスタの開催予告
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 第2回学校運営協議会議事録について ・ 前回の議事録と要点について確認した。 (2) 令和7年度学校評価について ・ 学校から取組などを説明し、委員がその場で評価した。

【議事概要】

<会長>

今日の主な議題は、学校評価についてです。
学校からの説明に対し、持ち帰らずこの場で評価します。

<南小校長> あいさつ

- ・ インフルエンザで1クラス学級閉鎖中。
- ・ スポーツの秋（運動会）、読書の秋など、充実した時間を過ごせている。

- ・ 次の学習指導要領に向けた論点整理…
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実践
 - ・ 多様性の包摂
 - ・ 実現可能性の確保

報告

学校（児童・生徒）の様子

<南小教頭>

- ・ 校外学習（3年、4年、1・2年）
- ・ 就学時健康診断
- ・ 運動会
- ・ 小中合同の特別支援学級さつまいも掘り
- ・ 落語教室
- ・ 修学旅行
- ・ 学級閉鎖の状況

<南中教頭>

- ・ 文化祭
- ・ 英語スピーチコンテスト
- ・ 新人体育大会
- ・ 生徒会役員選挙
- ・ 駅伝大会 女子が県大会出場
- ・ 合唱祭
- ・ ウォークラリー、松フェスボランティア
- ・ 学年閉鎖の状況

議題（1）

第2回学校運営協議会議事録について

<会長>

今回は、研修報告、学力調査の結果報告、各団体からの報告などを行いました。

議題（2）

令和7年度学校評価について

○南小・中それぞれの教頭が、評価項目ごとの具体的な取組と、児童からの肯定的な評価の割合を説明し、項目ごとに質疑応答を行った。

<小学校>

3. 学校は児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしているか

<会長>

自分の意見を言えない子はいるか。

<南小教頭>

言えない時は、アプリを使って文章に打ち出すことができる。

<委員>

児童からの評価が4～6年生しかないのはなぜか。

<南小教頭>

県の学力・学習状況調査の対象学年のみだから。

4. 学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。

<委員>

タブレットを使うことにより、考える力・書く力・読む力をどのくらい伸ばしているのか。

紙ベースの必要性も加味してほしい。

<南小教頭>

すべてをタブレットにしようとは考えていない。

従来のいいものも取り入れていく。

<委員>

タブレットで波縫いのやり方などを覚えるのは有効だが、「なぜ」波縫いをするのかという説明がない。タブレットの教材にはない「なぜ」の部分を勉強し、実際に手を動かすことでつながりが生まれるので、力を入れてほしい。

<南小教頭>

家庭科に限らず、算数や他の教科でも同じことが言える。

学び合い学習では特に「なぜ」の部分を話し合っていて考えていく。

<会長>

タブレットは時間が短いコンテンツが多い。
長い文章や小説を読む根性も大切だと思う。

5. 学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。

<委員>

鶴ヶ島市、および南小の体力テストの位置づけは。

<南小校長>

他市町村がデータを出さないなので、市の位置づけは不明。

南小は、市内では中盤より上。

シャトルランや、全国で問題視されている投力・握力はよい結果だった。

<委員>

小学校ではよかった投力が中学校でよくないのは、投げづらい種類のボールを使っているからではないか。

<南中校長>

前任校でも同じような傾向が見られた。中学校の3年間で伸ばしていきたい。

<委員>

結果がよいのは、日常で運動しているからではないか。

<南小教頭>

放課後に遊びに来る児童が多く、普段から外遊びをしている印象がある。

6. 学校は、児童の児童指導上の課題等に対して、組織的に家庭等と連携・協力しながら対応している。

<委員>

いじめ問題について、南小での状況は。

<南小教頭>

積極的にいじめと認知し、生徒指導主任を中心に実態を把握しながら指導している。

<委員>

タブレットでのいじめ相談フォームは、面と向かって先生に言えない子にはとてもよいと思う。

<会長>

いじめ対応はどのような流れで行われているか。

<南小教頭>

担任が一人で抱え込まないように、組織的にすぐ情報共有している。

<委員>

若い先生も多いと思うので、抱え込んで出勤拒否にならないようにしてもらえたらよい。

8. 学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。

<委員>

小学校での英語のすすめ方やレベルは。

<南小教頭>

- 1・2年生・特別支援…月1回程度
- 3・4年生…外国語活動
- 5・6年生…教科としての英語

<南小教頭>

以前は担任が授業していたが、英語の免許を持つ教員とALTがほぼオールイングリッシュで授業をしている。

<南小校長>

低学年もALTとの外遊びなどで、果敢にネイティブ発音に取り組んでいる。

<中学校>

3. 学校は生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしているか

<会長>

中学生が自信をつけられる場があるとよい。

<南中教頭>

この学校に来て、地域ボランティアなどに参加することが自信につながると感じた。

<委員>

文化祭などの自分たちで作り上げる場が、色々な考えにふれる機会になっているのでは。

<南中教頭>

体育祭や合唱祭なども、生徒たちが主人公となって活動しており、自信をつけるよい機会になっている。

4. 学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。

<会長>

コロナ禍にあったリモート授業は今でも活用されているか。

<南中教頭>

学級閉鎖のクラスで1日3時間程度行われた。

6. 学校は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に家庭等と連携・協力しながら対応している。

<委員>

家庭から相談があった場合の連携についてはどのように行われているか。

<南中教頭>

まずは学年の職員で話を聞き、電話したり、来校したりしていただく。管理職や、場合によっては他機関とも連携していく。

<委員>

外国籍の家庭にはどのように対応しているか。

<南中教頭>

英語を話せる教員やボランティアに間に入れてもらうこともある。

<委員>

外国籍の家庭はこれからますます増える可能性もあり、そういった対応については、教育委員会とも調整していく必要がある。

8. 学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。

<委員>

数学の単元内自由進度では、自分でどんどん進んでいった方がいいのか。

<南中教頭>

授業内で設定された範囲内で取り組むことができる。

<委員>

地域で見かける子どもの交通マナーについては、休日は地域で声をかけるべきかも。

連絡

各団体の今後の予定

<会長>

- ・ 1月31日（土）、太田ヶ谷の自治体が「子どもと大人の集い」を開催し、餅つきや豆まきを行う。午前中がメインになる予定。
- ・ わいわいがやがや祭りの中学生ボランティア…
募集期限は過ぎているが、追加で募集している。

<会長>

次回の協議会は、三鷹市のコミュニティースクールマイスターの先生をお呼びして、「南小中（一貫校）の魅力探し」をテーマにグループワークでの熟議を行う。